

日本商工会議所青年部

令和2年度日本ネットワーク委員会415事業

日本YEG都道府県別415単会会長とのWEB懇談会

議事録

開催日	令和2年6月24日	時間	16:00 ~ 17:00
連合会名	西 地区	近畿 ブロック	香川 県連
出席単会名	丸亀・坂出・善通寺・観音寺・高松・多度津		
出席者数	28 名		
	丸亀	<p>単会の取り組みについて4月から活動自粛をしている。メンバーへ案内をして7月から活動再開をする。自粛中はSNSを利用してメンバーへの情報共有を行っている。今年度はブロック大会の開催主管地であり心配されるが、現在、自粛中であるものようやく活動が見えてきた。会員事業所へ少しでも協力していこうという方針である。今はブロック大会をどのようにしていこうか検討中である。</p>	
	坂出	<p>坂出では6月より活動を再開した。それまでに会長としてできることとして1週間おきにATを通じてコロナウイルスとたたかう皆さんへということでメッセージの配信を行った。また、コロナ関連でヒアリング調査をメンバーへ行った。内容については国の政策を知っているか、6月以降活動再開が可能かなど。今年度は2つ活動中止した。今年度は創立40周年を迎え、周年の準備と長年行っている「バル」をしようということで、その方向で進めている。先日、高松YEGのOBをお招きして研修事業を行った。内容については青年部とはなにか。ブロック大会、全国大会、周年など。親会でエール飯があり、青年部として坂出に何ができるかを考えている。</p>	
	善通寺	<p>コロナによって自粛は行っていない。役員会も参集して行ってきた。4月28日に会員全員が入れるグループラインを設置活用し、コロナ関係についての施策や申請の仕方についての研修を行った。5月30日(土)ドライブスルーのイベントを会員メンバー6店舗の協力のもと実施。400食を30分で完売した。広報についてはFacebookやインスタグラムを活用。第2弾には市内向けに飲食店以外のお店と協力して行う。8月に予定されていた市のお祭りが中止となった。その変わりとして11月に市と県との合同イベントが計画されYEGも協力していく。</p>	

貴単会が行っている
主な事業
(継続・単年)

<p>観音寺</p>	<p>コロナ禍の影響で4月、5月は活動を自粛した。4月にメンバー向けにアンケートを実施し状況把握をおこなった。飲食店の影響が多く6月の例会時に情報を共有した。5月の総会はAT書面決議。このことについては親会の判断も伺った。夏祭りが中止となった。次年度にある夏まつりに向けての話し合いを今後行っていく。親会との共催事業が9月にあるが今後どのようにするか協議。全国大会の準備も進めなければならない。全体事業としては親会の主導でかめしという事業があり、デリバリーのチラシを作成して配布。会員も事業に協力をしている。</p>
<p>高松</p>	<p>6月末まで参集での会議は禁止。ZOOMでの会議のみをおこなった。メンバーの中に税理士が在籍しているので補助金申請について情報提供を行った。会員向けに緊急コロナアンケート実施。会員全96社から42社回答を得た。親会へアンケートについての情報提供を行った。高松商工会議所の会頭が日本YEGから政府へ提言するにはどのような流れがあるのか問い合わせがあり情報提供をした。タカマツおうちメシ事業をFacebookやHPでの情報提供を行っている。高松競輪場でドライブスルーを実施し全部で17店舗し約3時間で1100食販売した。現在、未来飯のクラウドファンディングを実施中だが集まりがわるい。7月から会議方法についてガイドラインを作成し対面とWEBとのハイブリット型の運営ができるようにしていく。8月の地域のまつりである「高松まつり」が中止となっている。参集ができない状況ではあるが、全国大会についての準備を少しずつ進めている。7月に始められるように、県連会長と連絡をみつにしながらすすめている。</p>
<p>多度津</p>	<p>4月は活動中止。委員会についてはWEBで実施。4月の対面での総会は中止した。ATを活用しWEB総会を実施。そのため新しいかたちができたと感じる。6月は10名以下での対面式で開催。ZOOMを活用し給付金の情報などメンバーへ配信した。会としては現在のところ、ほとんどの事業ができていない。7月から例会で7月、9月と研修事業を計画している。来年の9月に婚活事業を計画している。</p>
<p>広瀬県連会長</p>	<p>香川県連は6月24日19時から理事会を予定している。今回は高松商工会議所の会場をお借りし対面で行う。正副でどのように活動を行っていくか検討をしている。活動については今後も皆さんと相談しながら進めていく。</p>
<p>牛山代表理事</p>	<p>いつまでもコロナコロナと言ってもしょうがないので対面で話をしながら活動について進めていく。</p>
<p>矢野プロ代</p>	<p>県連内のメンバーは仲が良い。</p>

まとめ

吉川筆頭副 会長	WEB懇談会は米良会長と単会会長との繋がりをつくれるきっかけになったと感じている。オンラインならではの手法で、会長の皆さんとともに話を聞くことができた。単会の皆様に頼られる日本YEGの存在でありたい。丸亀のブロック大会、来年度の全国大会があり皆様との関りを少しずつ深めていきたい。
米良会長	本日、ありがとうございました。 1単会での話を煮詰めていくと1日はかかるが、今日は助走の1時間と考えている。役割とコロナとの共生について述べさせていただく。役割についてはスローガンで掲げているが、役割の中で立ち位置、役職、組織とうとう鑑みながら日本経済を盛り上げていかななくてはならないと考えている。そうしたときにどのように対応していくかが求められていく。地域経済を盛り上げることがGDPの押上であるし総和でもある。こういう状況だからこそ踏襲しながら活動をやっていくことが重要だと考える。 連合会の役割、後押しを考えながら情報提供しながら導いていき、このような日本YEGでありつづけたい。 コロナについては37名会員がいるならば37通りのコロナとの付き合い方がある。会長からこんなに話をきいてもらった。寄り添ってもらったなど。会長だから出来ることがあると考えている。初心時の気持ちを忘れずにメンバーとの共有をお願いしたい。 仮にコロナの感染者が身近にいたとしても差別、誹謗中傷はせずにYEGであるからこそ仲間意識を持ち続けていく必要があると考えている。もしコロナにかかったとしても